

こんにちは 町会です

つながりの輪をひろげよう
町会・自治会のふれあい活動

入船三丁目町会



久松町町会



晴海ビュータワー 自治会



**町会・自治会活動に参加して
世代を超えたふれあいを！**

わがまち中央区の人口は、わずか十七年で最少時の二倍近くに増えており、一年間に生まれる赤ちゃんの数は二倍、三倍になるなど、ベビーブームでにぎわいと活気が一段とみなぎっています。

区は、「快適な都心居住」のもとで、将来にわたり安心して住み続けられる世界に誇れるまちづくりに努めておりますが、今日のようにまちのにぎわいが増す中で、毎日安全に安心して暮らしていくためには、地域で暮らす人々との相互理解や信頼関係の構築が必要不可欠となります。

地域において、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については、防災訓練の実施や災害用備蓄品の一層の充実を図るなど、より安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。

さらに、町会・自治会は、盆踊りやもちつきなどの伝統行事も行っていますので、子どもから大人まで幅広い年代の方たちとコミュニケーションを図ることができるよう魅力です。

「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入・参加のきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょう！

京橋地域
**町会の多彩なイベントが
 新旧住民の橋渡しに**
 入船三丁目町会
 会長 石井 吉郎さん



「入船三丁目は生まれ育った土地であり、顔なじみの方も多いため、皆さんとは気軽に挨拶を交わします。町会活動は活発で、役員の方をはじめ会員の皆さんには大変ご協力いただき感謝しています。」と語るのは石井会長です。現在、町会会員は三百五十で、そのうち個人が二百五十、法人が百です。

「マンションも数多く建設されていますが、賃貸のワルルームの場合、短期間で転居される方が多く、町会活動には消極的です。一方、分譲マンションは定住型のファミリータイプが多いので、町会ではマンションの管理組合に働きかけて、入会案内や行事への参加をお願いしています。」と石井会長。新しく転入された法人企業に対しても、町会活動を説明し、入会をお願いしているそうです。



町会の年間行事で最も盛り上がるのは、五月の「鉄砲洲稲荷神社例大祭」で、三年に一度、本祭り「執り行われます。威勢のよいかけ声とともに町内みこ

しも練り出され、町内外から大勢の方が参加してにぎわいます。また八月には納涼大会を一日にわたりに開催。太鼓の音に合わせて、やぐらの周りで盆踊りを楽しみます。揃いの浴衣で踊る町会婦人部の皆さんが祭りに華を添え、大いに盛り上げます。また模擬店では焼きそば、ビール、おでん、かき氷などを販売。近隣の方も含めて二百人ほどが参加するビッグイベントとなっています。



このほか一月末の「もちつき大会」や夏休みの「ラジオ体操」は子どもに人気の恒例行事です。また十月には「町内先輩方との親睦会」を開催。高齢者を招待し、生け花教室などを企画して交流を深めています。この地域の

皆さんは日ごろから美化意識が高く、まちはいつもきれいですが、中央区主催の「クリーンデー」にも、毎回二十名ほどが参加。道路の吸い殻や植え込みの中の缶を拾い、周辺の清掃を行っています。

**住民同士が顔見知りになり
 気軽に挨拶を交わせるまちに**

「町会の行事が、以前からこの地に住んでいる方と新しくマンションなどに入居された方との交流のきっかけになることを願っています。顔見知りになれば挨拶を交わすようになりますし、やがていろいろな話せるようになるでしょう。そんなふうには、みなさんが気軽に言葉を交わせるまちを目指しています。」と石井会長。そんな関係を築くことが、防犯にもつながり、災害時の協力体制にも役立つの思いがあるそうです。

町会活動の主力は婦人部と青年部ですが、広報部はポスターやチラシの作成、厚生部はラジオ体操の企画というようにみんなが分担して活動しています。

「微力ですが、わたしも区が主催するさまざまな講習会に参加して、皆さんに有益な情報をお伝えするなど、できる限りの活動を続けていくつもりです。幸いなことにこの地域は、区役所や警察署、消防署の方々のおかげで犯罪が少ないので、今後安心して安全なまちにしたいと考えています。」と石井会長。その言葉には、地元を愛する熱い思いが感じられました。

～町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみの利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご利用ください。



中央区 町会・自治会ネット 検索

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。

お問合せ先 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337

日本橋
地域学校や警察署との連携が
円滑な町会運営を実現

久松町町会

会長 佐藤 寛さん

久松町の特徴は、幼稚園、小学校、警察署などの公的施設が町内に集まり、日ごろから相互連携が図られていることです。

「幼稚園と併設する小学校は、地域の防災拠点になっていますし、多くの行事が小学校周辺で実施されます。また警察には交通安全指導や防犯をはじめ、数々の町会行事に協力していただいています。そのうえ町内には区民館や神社もあるため、行事を円滑に運営する環境が整っていています。」



と語るのは佐藤会長です。

現在、町会会員は法人も含めて約百五十と小規模ですが、その分まとまりがよいそうです。町会主催の行事としては八月の「納涼盆踊り大会(二日間)」が大きなイベントで、久松町鼓同会の皆さんの演奏に合わせ、やぐらを囲んで踊ります。金魚すくいやビンゴゲームなど子ども向けの催しも多数あるほか、カレー、焼きそば、かき氷などの模擬店も出店します。地元住民

のほか、法人企業の方、幼稚園や小学校関係者、警察関係者など大勢来場し、のべ約四百人の方が楽しめます。



十二月の「もちつき大会」もにぎやかです。警察の協力を得て道路を閉鎖して開催。子ども用を含む三つの臼と杵で、ワイワイ言いながら楽しくつきます。あんこやきな粉、大根おろし、納豆をつけたおもちのほか、豚汁やおでんも用意。三百人ほどの参加者にふるまい、喜ばれています。

このほか二月には、久松稲荷神社で「初午祭」が行われ、神田明神の宮司さんが住民の商売繁盛や健康・長寿を祈禱されます。参加者にはお札と稲荷寿司が配られるのが恒例です。

他町会との合同行事としては、毎年春には、消防署、富沢町町会、東京織物卸商業組合との合同防災訓練が行われます。隔年では、五月に開催される「神田祭」も最大のイベントです。町会では揃いの法被を着てみこしをかつき、役員数名は紋付き袴姿で行列に参加します。また十月には、日本橋五の部連合

町会主催の「ゴノちゃん運動会」が浜町グラウンドで開催されます。なかでも十町会対抗のリレーや綱引きは応援にも熱が入り、大いに盛り上がります。

住民パワーの活用で
安全で住みよいまちに

「お正月に実施される久松幼稚園の『地域めぐり』も住民の楽しみのひとつです。園児たちがいくつかのグループに分かれて商店や警察署などを回り、可愛い獅子舞いを披露したり、太鼓を叩いて、「おめでとうございませう」「商売繁盛」と声を揃えてあいさつします。このように小さい頃から地域と密着した行事に参加することが、地元愛を培うことにつながるのではないのでしょうか。」と話す佐藤会長。多くの住民が園児たちから元気をもらっているようです。

「町会の目的は、会員同士の親睦を深めることであり、それがひいては会員の安心・安全を守ることにつながると思います。住民パワーでまちを守り、子どもたちの環境をよりよいものにしたいですね。そのためには町会活動に積極的に参加して住民意識を高めてほしいと思います。まずは町会の行事に足を運んでみてください。参加すればきっと楽しめます。」と佐藤会長。ぜひ一度参加して、町会の素晴らしさを実感してください。



会長の佐藤さん(左)と副会長の松原さん(右)

～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

現在、「中央区」には、約3万7千の民営事業所に72万人の従業員が働いています。

3年前の「東日本大震災」では、多くの帰宅困難者が発生しましたが、中央区においては、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。

町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも貢献されています。

法人企業においても、日ごろから町会との連携を深め、地域内での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りやもちつきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することで、日中多くの時間を過ごす地域の方とコミュニケーションを図ることもできます。さらに、町会に加入し区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！皆さんの事業所がどの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、2面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。





子どもや高齢者に配慮した きめ細やかな活動を展開

晴海ビュータワー自治会

会長 眞野 幸男さん



晴海ビュータワーは一九九八年に完成した五十階建てマンションで、総戸数は六百二十四戸です。すべてファミリータイプで三、四割が法人契約、そのほかは個人所有です。

「現在、自治会には全体の五割ほどの約二百四十世帯(複数戸所有の法人は合わせて一世帯)が入会しています。難しいのは、戸数が多くて全世帯への連絡に時間がかかることです。連絡網を作って回覧したり、掲示板を利用したり、ポストへ投函したりと工夫しています。」と語るのは会長の眞野さんです。

自治会のイベントは、春の「交通安全運動」、夏休みの「ラジオ体操」など、子どもを対象にしたものが多いのが特徴です。そして特ににぎわうのは三月に晴海臨海公園で開催される「もちつき大会」で、近隣住民からの参加者を含めると八百人ほどが集まります。



七月は、晴海連合町会主催の「晴海盆おどり大会」が開催され、自治会では模擬店を出店します。今年も二十名ほどの若手会員が中心にな



り、焼きそばを販売しました。

来年八月には、三年毎に開催する住吉神社例祭(本祭り)の年です。四十年間念願であった晴海の神輿が前回の例祭に完成しました。参加資格は会員であることで、会員の皆様は来年の大祭を楽しみにしています。

九月には「バス旅行」を計画。毎回八十名ほどが二台に分かれて参加します。昨年は川越を散策し

たり、製菓工場を見学したり、交通博物館を訪れましたが、子どもたちの参加も多く、大変喜ばれました。今年も千歳方面を予定しています。

「集會室では高齢者クラブ、さくら会と共に、毎月三回、『ストレッチ体操』を開催し、専門の講師から指導を受けています。誰でも参加自由で費用は無料。年配の方を中心に毎回三十名ほどが参加します。自治会会員のなかには一人暮らしの高齢者も少なくありませんので、役員がこの体操への参加を積極的に呼び

かけ、ひと月のうち一回も参加されなかった場合は、電話で連絡をとるようにしています。近況把握にもつながるので、今後も続けていく予定です。」と眞野会長。

秋には消防署や警察署の協力を得て、マンション管理組合と共同で「防災訓練」を実施し、二百名ほどが参加します。防犯・防災はコミュニティにとって重要ですし、普段話す機会の少ない住民同士の交流の場になるので、意義ある行事となっています。また地域の美化運動(クリーンデー)は、二カ月に一度実施しています。

オリンピックを契機に 強固なコミュニティを

「自治会活動は会長一人では何もできません。四名の副会長をはじめ、会員の皆さんの協力があつてこそ成り立ちます。ですから今後は若い方、特に男性にも自治会に関心をもってもらい、行事にも積極的に参加してほしいと思っています。」と語る眞野会長は、行事に参加された方や、協力してくださった方には、後日お礼状をお送りしているそうです。そんなきめ細やかな心遣いが、自治会の円滑な運営につながっているのでしょう。

「二六年後にはオリンピックが開催され、海外から大勢の方が来られるので、何か役に立ちたいと考えています。地元在住の外国人から言葉を学ぶ勉強会を開くなど、いろいろ構想中です。」と話す眞野会長は、オリンピックを契機にコミュニティのつながりを一層強固なものにしたと願っています。

コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日に一人100円(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で銭湯の湯をお楽しみいただけます。

みなさんのご利用をお待ちしています。

平成26年度の後期は、下記の日程となっています。

【開設日】 10月10日(金)・24日(金) 11月 7日(金)・21日(金) 12月12日(金)・26日(金)
1月 9日(金)・23日(金) 2月13日(金)・27日(金) 3月13日(金)・27日(金)

※第2金曜日は、季節にちなんだ趣向で浴場を飾ります。

【時 間】 各浴場営業時間 【場 所】 中央区内公衆浴場(銭湯)11浴場
【対象者】 中央区内在住・在勤者 【入浴料金】 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料



お問合せ先 区民部地域振興課区民施設係 03-3546-5623